

# かざぐるま

ひと 未来 輝いて

2020 February

NO. 102



だいまち利用者の作品

## 特集

### ●高齡化・重度化に対応したグループホーム整備

## トピックス

- 法人の取り組み
- 各施設の取り組み
- お知らせ

特集

# 高齢化・重度化に対応したグループホーム整備

現在、事業団が運営している障がい者グループホームについては、既に入居されている方の高齢化・重度化への対応や障がい者支援施設の重度の利用者の地域移行を推進するため、グループホームの整備に着手しています。また、建物の老朽化への対応や高齢になっても住み心地の良い生活環境作りに努めています。

平成30年度の障害福祉サービス等報酬改定において、高齢化・重度化に対応できるグループホーム（共同生活援助）の新たな類型として、「日中サービス支援型共同生活援助」が創設されており、この流れも視野に入れながら、利用される方が安全・安心に生活を送ることができるグループホームを整備していきたいと思えます。

## ●泉荘共同生活事業所 みどり荘

「アパートでゆったり生活」



サービス管理責任者 高瀬 美穂

みどり荘は、かつて建設会社の社員寮としていたところを借り、11年間、5人で生活してきましたが、老朽化を理由に令和元年8月に取り壊すことになりました。

8月、朝から真夏の太陽が照りつける中、皆さん大汗をかきながら近くのアパートへ引っ越しをしたことを思い出します。長年お世話になった大家さん（建設会社の社長さん）へは、感謝の思いを伝えつつ、新しい気持ちで、新みどり荘生活をスタートしました。

アパートの周辺には、コンビニや郵便局、病院や床屋、駅など社会資源がたくさんあり、環境として恵まれている

のではと思います。住まいは変わっても生活スタイルは変わることなく、自由に生活している姿があります。

入居者の中には高齢な方もいらっしゃいますが、皆さんが安心して生活できることを一番に、これからも支援していきたいと考えています。



きれいなアパートへ引っ越し、ストレスを感じることなく生活しています。

今までは洗濯機が1台しかなく、曜日や順番を気にしながら使っていましたが、2人で1台を使うことができ、快適です。自分の思い通りの部屋のレイアウトができ、楽しいです。感謝しています。



みどり荘利用者の声



申し分ないぐらい、何不自由なく幸せです。住まいは変わったが、自分のスタイルは変わることなく、不安な気持ちの負担が少なく、感謝しています。

## ●希望が丘東置賜共同生活事業所 グループホームまんでん

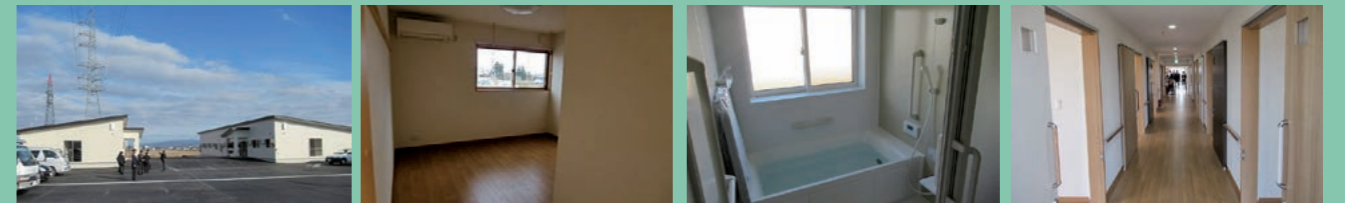
「まんでんの笑顔のために…」

サービス管理責任者 高橋 光平

令和2年1月1日、川西町に10名定員（男性）のグループホームを開所（新築）しました。忙しい時期の引越となり、様々な方々からご協力いただきながら新たな生活、支援体制をスタートすることができました。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。さて、これまで川西町には9カ所のホームがあり、朝夕に入る支援体制を基本に行ってききましたが、「まんでん」の24時間の支援体制ができたことにより、既存ホームの支援拠点の役割と併せて、地域からの期待も大きくなったと感じております。「まんでん」においては、24時間の支援体制、バリアフリー、365日（朝夕）自前の食事提供、看護師の配置（他のホームと兼務）等を活かしながきめ細やかな支援をしていきたいと考えております。「まんでん」は、既存のホーム入居者の皆さんと職員に名称を募り命名されました。川西町を代表する花である「ダリア」の品種から名を取らせていただいたことと満点・満天の願いが込められております。まんでんの笑顔をたくさん咲かすことができるように職員一同取り組んでまいりますので、今後とも何卒よろしくお願いたします。

まんでん利用者の声

- ・新しくクーラーがあっていい。
- ・ごはんがおいしい。
- ・お店が近くていい。
- ・静かでゆっくりできる。
- ・人数が多くて慣れるまで大変だったけど、助け合っているのが良かった。
- ・長く暮らしたい。



## ●希望が丘川西共同生活事業所 グループホームころころ

「いつまでも自分らしく、安心した生活を」

サービス管理責任者 船山 美佳

川西町内に初めてグループホームができたのは、平成元年。あれから30年が経ちました。建物の老朽化はもちろん、利用者の方も年齢を重ね、今まで気にならなかった段差や階段が大変になったり、設備面が使いにくくなったり、自分でできていたことが支援がないと難しくなったりと、旧ホームでの生活が難しくなってきた方が出てきました。

そこで町内にあった9つのホームを再編し、令和2年1月1日に川西と東置賜共同生活事業所それぞれに24時間対応型のグループホームを開所しました。グループホーム支援をしていたサポートセンターコロコロの機能を、各事業所の24時間対応型のホームに移し、サポートセンターコロコロは令和元年12月末で終了となりました。川西共同生活事業所の新ホーム名称はサポートセンターコロコロの名前を残し、グループホーム「ころころ」としました。近くにスーパーやコインランドリー、クリニック等があり便利などところに建っています。年を重ねても、障がいも重くても、地域の中で、仲間や地域の人たちと、楽しく、そして自分らしく安心して暮らしていけるよう、私たち職員は利用者一人ひとりに寄り添い支援していきます。

ころころ利用者の声

- ・新しいホームは暖かくていい。前のホームは、隙間風が入って寒かった。もう寒くない。
- ・温かいご飯が食べられていい。おいしい！
- ・明るくて、きれいでいいなあ〜。気に入った！
- ・夜中も職員がいるので安心。
- ・階段や段差がなくて、歩きやすい。



法人の取組

福利厚生事業

当事業団では職員間の連携強化や楽しい職場づくり、そして社会貢献を目的として、福利厚生事業を実施しています。今年も県内各地域で工夫を凝らした事業が行われ、多くの職員と職員家族が参加し、にぎわいを見せました。

庄内地域

「地の利を活かして」

吹浦荘 援助主査 池田 満

庄内地区で開催された福利厚生事業は、今年度より圏域を越えての参加が可能となったため、地の利を活かし、庄内浜での地引き網と、昨年好評であった芋煮会、二つの事業を開催しました。地引き網では、庄内のみならず内陸地域からの参加もあり、総勢60名参加というにぎやかな事業となりました。

芋煮会はいにくの雨天となりましたが、芋煮のほかゲーム大会や、みんなで生地から手作りしたピザ焼き体験もあり、楽しい時間を過ごすことができました。

来年度以降も様々な方に興味を持っていただける事業を企画し、職員の福利厚生を充実させていきたいと思ひます。



置賜地域

「ココロとカラダをリフレッシュ」

特別養護老人ホーム寿泉荘 主任看護師 石井 由紀代

置賜地区では2つの事業「フットサル大会・芋煮会」と「ココロとカラダの癒し時間」を開催しました。「フットサル大会・芋煮会」は希望が丘敷地内で開催し、皆さんいい汗を流し、おいしい芋煮をほおばりながら交流を深めていました。「ココロとカラダの癒し時間」は、多忙な日常を離れ、癒されてほしいという思いで、温泉施設を会場に、4種のハンドメイドとミニ整体を企画しました。毛糸で作るポンポンリースとツリーが人気で、皆さん談笑しながら豪華な作品を仕上げました。

傍らで、高橋整体師さん（米沢市ひまわり整体院）が、全員へ施術してくださいました。温泉に入られた方も多く、皆さんの笑顔に私も癒されました。参加者同士、良い交流の場となったようです。



村山・最上地域

「東日本大震災災害復興視察に参加して」

福寿荘 主任援助員 佐藤 直樹

村山・最上地区では宮城県の大震災災害復興状況について視察させていただきました。

石巻市の大川小学校においては、児童と先生を合わせて84名の尊い命が津波により犠牲となりました。校舎もそのままの状態に残され、私自身も初めて実際の被害状況を目の当たりにし、予測できない自然災害の恐ろしさや、多くの人や建物を襲った津波の爪痕に、とても切なく胸が詰まる思いでいっぱいになりました。女川町においても、地元の語り部さんによる当時の悲惨な状況や体験談をリアルに伺うことができ、短い時間でしたが参加者それぞれ強く感じたこと、思うこともあり、忘れられない貴重な時間となりました。



社会貢献事業 <フードバンク活動>

庄内地域 鶴岡市・酒田市社会福祉協議会を通じて食品・飲物等を寄贈

置賜地域 川西町社会福祉協議会を通じて食品・飲物等を寄贈

村山・最上地域 山形市社会福祉協議会を通じて食品・飲物等を寄贈

令和元年度健康運動福祉セミナー

リハビリテーション委員会健康運動部会 佐藤 大作

令和元年12月11日にAFAA（米エアロビクス&フィットネス協会）認定インストラクターの小林雅子氏を講師にお招きし、福祉に携わる方々を対象に健康運動福祉セミナーを開催しました。

「笑顔で健康運動」と題し、実技を中心に猫背改善のストレッチやシナプソロジーを用いたゲームやストレッチ等を教えていただき、「日々の活動に取り入れやすいことがたくさんありました。」との声が多数ありました。終始、笑顔溢れる素晴らしいセミナーとなりました。今回学んだことを利用者の笑顔と健康のために日々の業務に活かしていきたいと思ひます。最後に、ご多忙の中、本セミナーの講師を快く引き受けてくださった小林雅子先生に感謝申し上げます。



令和元年度理学療法・作業療法部会セミナー

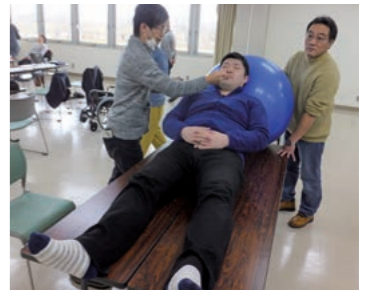
理学療法・作業療法部会 部会長 吉田 謙介



令和元年12月13日に当事業団所属の理学療法士及び作業療法士が講師を務め、当法人施設勤務の職員対象に理学療法・作業療法部会セミナーを開催しました。

セミナーでは、部会で発行しているガイドブック作成に至った経緯と背景、食事動作に対してのアセスメントと支援についての講義を行い、食事動作に課題がある事例に対して、課題整理と支援方法についての事例検討（グループワーク）を行いました。

今後も引き続き、リハビリの視点を発信していき、利用者支援のさらなる質の向上の一助になればと考えています。



各施設の取組

総合施設かるむの里 無料開放講座

総合施設かるむの里 所長 鈴木 一成

令和元年11月30日、鶴岡市にある『総合施設かるむの里』体育館において、地域住民の方々に無料開放講座「家庭でできる健康運動」を開催しました。講師は、かるむの里リハビリセンター所属の理学療法士及び作業療法士が務め、参加者は大山地区、桝屋地区、湯田川地区から8名がおいで下さいました。参加者の方々に「簡単な運動なので続けていきたい。」「とても参考になった。他の人にもPRしたい。」等、感想をいただきました。

かるむの里は地域に愛され、地域に開かれた施設を目標に、地域福祉の向上を目指す取組の一つとして、地域住民の方々のニーズにあわせた講座を今後も随時開催していく予定です。

（タウン誌「庄内小僧（1月号）」でも紹介しています）



～ サポートセンター編 ～

「だいまち」 「おはようございます、だいまちです!!」

サポートセンターおきたま 主査 吉田 恵美子

多機能型事業所「だいまち」では、毎月2回、緊張しながら大きな挨拶で隣組長さん宅へ市報を届けに行っています。

当事業所は平成23年より事業を開始し、現在、生活介護・就労継続支援B型・就労移行支援の3事業を行っています。平成26年より作業種の一つとして地区より市報の仕分け・配布の仕事をいただきました。毎回種類も枚数も異なりますが、配達に行くとき温かい言葉をかけていただき仕事の達成感を感じることができます。利用者の方それぞれが地域で自分らしく生活できるよう、これからも地域の方々のお力をお借りしながら支援していきたいと思っております。



「あずさ」 「学童保育との交流について」

サポートセンターあずさ 主査 漆山 茂

サポートセンターあずさの隣に畑としてお借りしている土地があり、ここに多機能型事業所「つばさ」の活動の一つとして利用者の方々と苺の苗を植えました。草むしりや追肥をして毎年苺の収穫を楽しんでいます。昨年の6月に突如大豊作となり、つばさ利用者の方々だけでは収穫も食べることも追いつかなくなり、職員の提案で近くの『学童保育レインボー』さんにお声がけしたところ、日をおいて計100名前後の子たちが苺狩りに来て、大変喜んでくれました。この事をきっかけに七夕の笹竹をいただいたり、散歩中に気軽に挨拶を交わすなど笑顔で交流出来ました。このような交流を大切にしていきます。



「ゆあーず」 『地域生活定着支援センター』について

サポートセンターゆあーず 所長 長谷川 智

地域生活定着支援センターは、平成22年1月に開設され、刑務所等の矯正施設を退所する高齢者や障がいのある方で保護観察所及び県外の地域生活定着支援センターから協力依頼のあった方について、受入れ施設のあっせん等の必要な手続きを行っています。

刑務所等には沢山の障がい者・高齢者が収容されており、出所後の生活基盤をきちんと再構築することで、再び同じ罪を犯さなくて済むように支援する…という役割を担っています。具体的には、住む場所や働き口、日中活動の場の確保など、「誰かと何処かで会って、ひたすらお願いをする」ことがメインの業務になります。これら通常業務の他に、県の再犯防止推進モデル事業の一環として、再犯防止推進セミナーを開催しました。

私たちが支援する方々は刑務所等出所者であっても、やはり福祉や介護を必要とする方々であるという気持ちで日々接し、支援しているところです。

「あおぞら」 「サポートセンターあおぞらです！」

サポートセンターあおぞら 所長 遠田 美枝

相談支援、多機能（就労B・生活介護）、共同生活、就業・生活支援センター（かでの）の4事業を行っています。共同生活は、昨年6月に酒田市北新橋に新ホーム2棟を開所しました。重度・高齢化対応のために、バリアフリーになっています。浴室・トイレも手すりを設置し、住み慣れた場所で、できるだけ長く、安心して生活できるように工夫しています。



生活介護では、その人らしい表現活動や創作活動に力を入れています。

4つの事業を行っていることでワンストップ福祉サービスの提供に努めています。不安なこと、分からないこと等ありましたらお気軽にお問い合わせください。

「ういんず」 「みんなの笑顔が嬉しくて」

サポートセンターういんず 所長 小野 まり子

サポートセンターういんずの事業の一つである「地域活動支援センター」は平成13年6月1日に西村山精神障がい者地域生活支援センターとして開設しました。みやま荘から、グループホームや地域へ地域移行した利用者の、暮らしを支える場所として開所しました。

当時から皆さんが楽しみにしている行事は花見・芋煮会・クリスマス会です。去年のクリスマス会は今までで最高50人が参加しました。サンタからのプレゼントも大好評でした。苦情相談委員・ボランティア・相談事業の職員の方々にも参加いただきました。

日ごろの活動は、手芸・健康運動・昼食会を行っています。また、年間行事として、当事者の会の方との合同研修旅行も毎年楽しいイベントになっています。いつもはもの静かな人も、満面の笑顔です。みなさんゆったりとしたひと時をういんずでどうぞ…



# 全事協第42回実践報告で佳作を受賞

吹浦荘 総括援助専門員 三浦ゆう子

吹浦荘では、どんな時も食事でホッとした気持ちになるようにと平成23年(東日本大震災)から「食育」を始め、平成26年「地産地消」をテーマに佳作を受賞し、今回が2回目の受賞になります。

鳥海山の伏流水が流れ込む遊佐町のおいしいお米「はえぬぎ」を提供していることから今回は「お米を通して考える食育」に取り組みました。お米作りの1年の流れは地元生産者、「おもてなしの心」やお米の料理は一流ホテルシェフに教えていただきました。

「食べることは生きることの基本」というとおり、食育の言葉が奥深く毎日が考察につながります。健康には多職種連携が欠かせません。食事は「おいしい」「楽しい」をモットーにお米パワー全開で、10年目の食育活動を追求していきます。



## 生産品紹介について

カードケースやトートバッグ等のレザー製品やフォトフレーム等、皆様の要望に沿った様々な製品を手作業で作っています。一部オーダーメイドにも対応しています。世界に1つだけのオリジナルグッズはいかがですか？



### レザー商品

- トートバッグ …2,000円
- カードケース …500円
- ペンケース …1,300円
- ポーチ …1,500円



### 帆布商品

- トートバッグ …1,000円～
- ポーチ …200円～



- フォトフレーム …800円

多機能型事業所「ワークショップ明星園」

〒990-0811 山形市長町728番地の2

詳しいお問合せは

☎ 023-684-3781 までご連絡ください！



## ★寿海荘主催イベントの日程

開催日	イベント名	出演者
5月13日(水)	藤島大黒舞	藤島大黒舞友好会
6月16日(火)	ギター・オカリナ	もくれん&Dear
7月1日(水)	開所記念	藤島カラオケ愛好会
9月1日(火)	舞踊の会	あつみ舞踊友好会
10月20日(火)	歌と踊り	藤沢大黒舞グループ

## ★さらにお得な五千円企画パック

《五千円ちょうどでお泊り(一泊二食付)できます。》

※対象は3名様以上で、60歳以上、母子(父子)家庭の母子(父子)、障がい者、寡婦の方です。

実施期間	
4月6日(月)～4月10日(金)	7月6日(月)～7月10日(金)
5月18日(月)～5月22日(金)	9月7日(月)～9月11日(金)
6月8日(月)～6月12日(金)	

くわしくはHPでご確認ください。http://www.jyukaiso.jp/

## まごころ料理で心もあったか



1泊2食付き

60歳以上の方・母子(寡婦)・父子・障がいのある方

**5,580円**

(消費税・入湯税込)

一般の方 **6,520円**

(消費税・入湯税込)

湯け流しの温泉でゆったりのおんびり疲れを癒やす



あつみ温泉

山形県福祉休養ホーム

〒999-7204 山形県鶴岡市湯温海字湯之里88-1

**寿海荘**

お問合せ(ご予約) ☎ 0235-43-4173